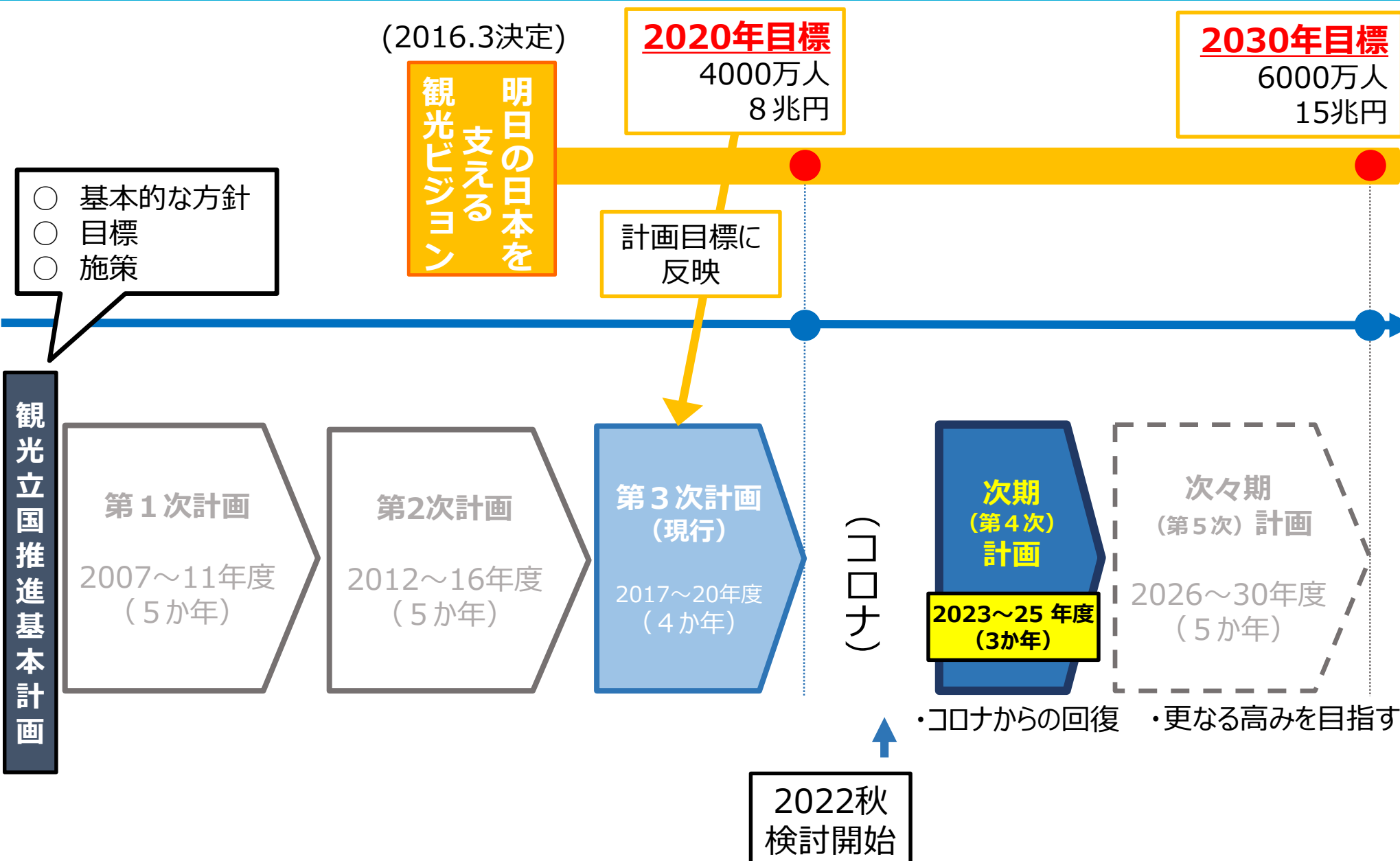


観光立国推進基本計画(案)について

2023年3月31日



計画期間：令和5～7年度
(2023～2025年度)

- 観光はコロナ禍を経ても**成長戦略の柱**、**地域活性化の切り札**。国際相互理解・国際平和にも重要な役割。
- コロナによる変化やこれまでの課題を踏まえ、**2025年(万博開催)に向け**、我が国の観光を**持続可能な形で復活させる**。
- **「持続可能な観光」「消費額拡大」「地方誘客促進」**をキーワードに、全国津々浦々に観光の恩恵を行きわたらせる。

取り組む3つの戦略

持続可能な観光地域づくり戦略

- 観光地・観光産業の再生・高付加価値化
- 観光DX、観光人材の育成・確保
- 自然、文化の保全と観光の両立等、**持続可能な観光地域づくり**

インバウンド回復戦略

- コンテンツ整備、受入環境整備
- 高付加価値なインバウンドの誘致
- アウトバウンド・国際相互交流の促進

国内交流拡大戦略

- 国内需要喚起
- ワークেশョン、第2のふるさとづくり
- 国内旅行需要の平準化

目指す2025年の姿

※個別の施策については、主な内容を記載

- 活気に満ちた**地域社会**の実現に向け、**地域の社会・経済に好循環**を生む「**持続可能な観光地域づくり**」が全国各地で進められ、**観光の質の向上**、**観光産業の収益力・生産性の向上**、**交流人口・関係人口の拡大**がコロナ前より進んだ形で観光が復活している
- 万博の開催地である我が国が**世界的潮流を捉えた観光地**として脚光を浴び、「**持続可能な観光**」の**先進地**としても注目されている

考え方

- コロナによる変化やコロナ前からの課題を踏まえ**質の向上を強調**するとともに、地域の目標への引き直しやすさも考慮。
- 今後の世界的なコロナの収束見通しが不透明であることも踏まえ、**人数に依存しない指標**を中心に設定。

目標

2019年実績

コロナ
(2021年)

早期達成を
目指す目標

2025年目標

地域づくりの
体制整備

① 持続可能な観光地域づくりに
取り組む地域数 **(新たに設定)**

12地域
※2022年

全都道府県
100地域

② 訪日外国人旅行者一人当たり
旅行消費額 **(新指標)**

<訪日外国人旅行消費額単価>

15.9万円/人

—

20万円/人
(2019年比25%増)

〔旅行消費額〕
4.8兆円

〔旅行消費額〕
0.1兆円

**旅行消費額
5兆円**

〔旅行消費額〕
6兆円超
(注1)

③ 訪日外国人旅行者一人当たり
地方部宿泊数 **(新指標)**

1.4泊

—

2泊

④ 訪日外国人旅行者数

3,188万人

25万人

2019年水準超え
(注2)

⑤ 日本人の地方部延べ宿泊者数

3.0億人泊

2.0億人泊

3.2億人泊

⑥ 国内旅行消費額

21.9兆円

9.2兆円

20兆円

22兆円
(2030年目標の前倒し)

(注1) 訪日外国人旅行者数が2025年目標を達成した場合。

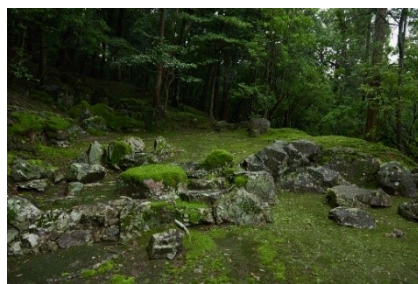
(注2) 世界的なコロナの収束見通しが不透明な中で設定したものであることに特に留意が必要。

国内

インバウンド

- 全国津々浦々で観光回復の起爆剤となる**特別な体験等の創出**や、**観光コンテンツの高付加価値化**を、**集中的に実施**。

我が国文化の最大限の活用



非公開エリア(庭園)
の**限定公開**
(世界遺産 吾寺)



学芸員による解説付
の**貸切鑑賞機会**
(三の丸尚蔵館)

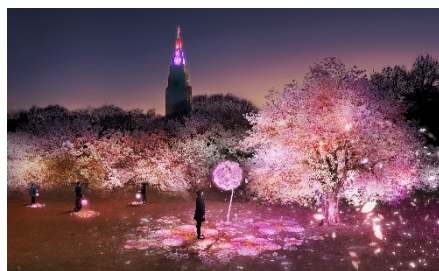


写真:森川昇



写真:松岡満男

夜間を含む特別鑑賞
(豊島美術館・地中美術館)

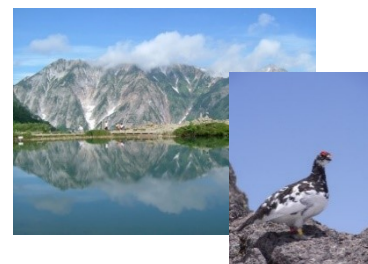


**桜×デジタルアートの
夜間特別開館**
(新宿御苑)

自然の魅力を活かした今までにない体験



立入禁止エリアへの**特別ツアー**
(やんばる国立公園)



ライチョウ保護**特別ツアー**
(中部山岳国立公園)

世界的なイベント等との融合



G7 広島サミット
世界に唯一残る**被爆列車**
の**特別運行**



京都・祇園祭
祇園祭の**特別観覧**

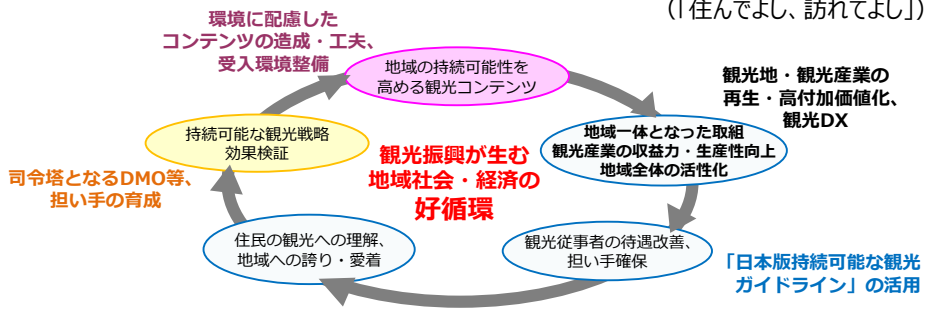
計画期間：
令和5~7年度
(2023~2025年度)

- 観光はコロナ禍を経ても**成長戦略の柱**、**地域活性化の切り札**。国際相互理解・国際平和にも重要な役割。
- コロナによる変化やコロナ前からの課題を踏まえ、**我が国の観光を持続可能な形で復活させる**。
- **大阪・関西万博も開催される2025年に向け**、「**持続可能な観光**」「**消費額拡大**」「**地方誘客促進**」をキーワードに、「**持続可能な観光地域づくり**」「**インバウンド回復**」「**国内交流拡大**」に戦略的に取り組み、全国津々浦々に観光の恩恵を行きわたらせる。

基本的な方針

持続可能な観光地域づくり戦略

- 観光振興が**地域社会・経済に好循環**を生む仕組みづくりを推進する
- 観光産業の**収益力・生産性を向上**させ、**従事者の待遇改善**にもつなげる
(「稼げる産業・稼げる地域」)
- **地域住民の理解**も得ながら、**地域の自然、文化の保全と観光を両立**させる
(「住んでよし、訪れてよし」)



インバウンド回復戦略

- **消費額 5 兆円の早期達成**に向けて、施策を総動員する
- **消費額拡大・地方誘客促進**を重視する
- **アウトバウンド復活**との相乗効果を目指す

国内交流拡大戦略

- 国内旅行の**実施率向上**、**滞在長期化**を目指す
- 旅行需要の**平準化**と関係人口の**拡大**につながる**新たな交流需要の開拓**を図る

目標

- **早期達成を目指す目標**：インバウンド消費**5兆円**、国内旅行消費**20兆円**
- **2025年目標** (質の向上を強調し、人数に依存しない指標を中心に設定)

持続可能な観光地域づくり	地域づくりの体制整備	① 持続可能な観光地域づくりに取り組む地域数【新】	100地域
	インバウンド回復	② 訪日外国人旅行消費額単価【新】	20万円/人
		③ 訪日外国人旅行者一人当たり地方部宿泊数【新】	2泊
		④ 訪日外国人旅行者数	2019年水準超え
		⑤ 日本人の海外旅行者数	2019年水準超え
	国内交流拡大	⑥ 国際会議の開催件数割合	アジア最大・3割以上
⑦ 日本人の地方部延べ宿泊者数		3.2億人泊	
⑧ 国内旅行消費額		22兆円	

主な施策

- 観光地・観光産業の**再生・高付加価値化**
- 観光DX、観光人材の**育成・確保**
- 持続可能な観光地域づくりのための**体制整備**等
- **コンテンツ整備**、**受入環境整備**
- **高付加価値なインバウンドの誘致**
- **アウトバウンド・国際相互交流の促進**
- **国内需要喚起**
- **ワーケーション**、**第2のふるさとづくり**
- **国内旅行需要の平準化**

目指す2025年の姿

- **活力に満ちた地域社会**の実現に向け、**地域の社会・経済に好循環**を生む「**持続可能な観光地域づくり**」が全国各地で進められ、**観光の質の向上**、**観光産業の収益力・生産性の向上**、**交流人口・関係人口の拡大**がコロナ前より進んだ形で観光が復活している
- 万博の開催地である我が国が**世界的潮流を捉えた観光地**として脚光を浴び、「**持続可能な観光**」の**先進地**としても注目されている **5**